

幸せづくりは足元から～「愛と汗」の幸せの種をまこう！

実行する

公益財団法人修養団(SYD)

理事・事務局長 久世郁夫

1. 修養＝修身養心＝いいことを実行し、悪いことをやめる。そのための強い心を養う。
中国がらの言葉

2. 愛と汗

誓願

人よ醒めよ醒めて愛に帰れ

人よ起てよ起ちて汗に帰れ

愛なき人生は暗黒なり

汗なき社会は墮落なり

共に祈りつつすべての人と親しめ

共に誇りつつすべての人と働け

わが住む郷に一人の争う者もなきまでに

わが住む里に一人の怠る者もなきまでに

愛＝みんな仲良くする



汗＝力を合わせて人や社会のため尽くす

みんなが幸せになる

(無争、無貧、無病)

3. 人は願いの人となる(蟹は甲羅に合わせて穴を掘り、人は願ひほどの世を経る)

4. 相手は変えにくいが自分を変えられる 過去は変えられないが未来は変えられる
 ⇒ 思いを変える(心)、言い方変える(言葉)、することを変える(行動)

5. 心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる

習慣が変われば人柄が変わる 人柄が変われば運命が変わる

(アメリカの心理学者 ウィリアム・ジェームス)

6. 【いい】こと思って 【いい】こと言っ 【いい】ことして いい人になろう

7. 「良い」から「善い」へ

自分に都合が良い 全体にと、善い

8. 知らなかったよ こんなにきれいだったなんて すぐそばにいて 知らなかったよ

星野富広

9. 当たり前 — 【有難い】

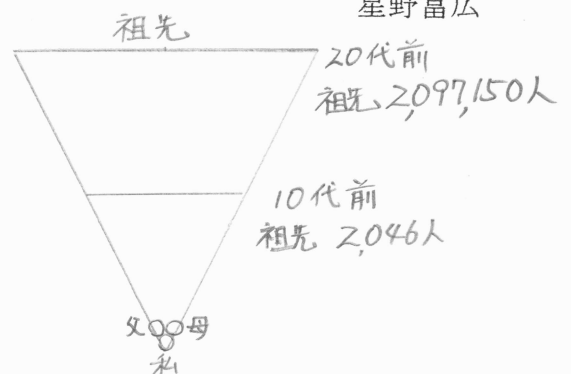
10. おかげさま

で生かされてきた。

11. すべてを感謝し常に喜び絶えず祈る

強り思いで実行する。

12. 生かされて生きる(感謝と報恩)



あたりまえ 井村和清著『飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ』祥伝社刊より

あたりまえ こんな^{すば}素晴らしいことを
みんなはなぜ ^{よろこ}喜ばないのでしょ
あたりまえであることを お父^{とう}さんがいる お母^{かあ}さんがいる
手が二本^{て にほん}あって 足^{あし}が二本^{にほん}ある 行^いきたいところへ 自分^{じぶん}で歩^{ある}いていける
手を伸^{て のば}ばせば 何^{なん}でも取^とれる 音^{おと}が聞^きこえて 声^{こえ}が出^でる
こんなしあわせが あるでしようか
しかし 誰^{だれ}も それを ^{よろこ}喜ばない あたりまえだと 笑^{わら}ってすます
食^{しょくじ}事が食^たべられる 夜^{よる}になるとちゃん^{ねむ}と眠^{ねむ}れ そして 又^{また}朝^{あさ}がくる
空^{くうき}気を胸^{むね}いっぱい^{むね}にすえる 笑^{わら}える 泣^なける
叫^{さけ}ぶことができる 走^{はし}りまわれる
みんなあたりまえのこと
こんな^{すば}素晴らしいことを みんなは決^{けつ}して ^{よろこ}喜ばない
そのありがたさを知^しっているのは それを失^{なく}した人^{ひと}たちだけ
なぜでしよう あたりまえ

生きていくということは 永 六輔

生^いきているということは 誰^{だれ}かに借^かりをつくること
生^いきていくということは その借^{かえ}りを返^{かえ}してゆくこと
誰^{だれ}かに借^かりたら 誰^{だれ}かに返^{かえ}そう
誰^{だれ}かにそうしてもらったように 誰^{だれ}かにそうしてあげよう
生^いきていくということは 誰^{だれ}かと手^てをつなぐこと
つないだ手^てのぬくもりを 忘^{わす}れないでいること
めぐり逢^あい 愛^{あい}しあい やがて別^{わか}れの日^ひ
その時^{とき}に悔^くやまないように 今日^{きょう}を明日^{あす}を生^いきよう
人^{ひと}は一人^{ひとり}では生^いきてゆけない
誰^{だれ}も一人^{ひとり}では歩^{ある}いてゆけない